

死亡届

令和
平成 2年 5月 1日 届出

埼玉県和光市長 殿

受理 平成 年 月 日	發送 平成 年 月 日					
第 号	長 印					
送付 平成 年 月 日						
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1) (よみかた)	わこう たこう
(2) 氏 名	和光 太朗 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(3) 生 年 月 日	昭和3年11月7日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) <input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後
(4) 死亡したとき	令和2年4月28日 <input checked="" type="checkbox"/> 午前 9時 13分 <input type="checkbox"/> 午後
(5) 死亡したところ	埼玉県和光市〇〇1丁目2番3号
(6) 住 所 (住民登録をして いるところ)	埼玉県和光市白子〇丁目〇番〇号 (よみかた) わこう なおと 世帯主 和光 直人 の氏名
(7) 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	埼玉県和光市白子〇丁目〇〇〇番 筆頭者の 氏名 和光 太朗
(8) 死亡した人の夫 または妻	<input checked="" type="checkbox"/> いる (満90歳) <input type="checkbox"/> ない (<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)
(10) 死亡したときの 世帯のおもな 仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯
(11) 死亡した人の 職 業・産 業	(国勢調査の年…平成 年…の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 〇〇 産業 〇〇
そ の 他	
届 出 人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 同居の親族 <input type="checkbox"/> 2. 同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 家主 <input type="checkbox"/> 5. 地主 <input type="checkbox"/> 6. 家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7. 土地管理人 <input type="checkbox"/> 8. 公設所の長 <input type="checkbox"/> 9. 後見人 <input type="checkbox"/> 10. 保佐人 <input type="checkbox"/> 11. 補助人 <input type="checkbox"/> 12. 任意後見人
住所	埼玉県和光市白子〇丁目〇番〇号
本 籍	埼玉県和光市広沢1番地 筆頭者の氏名 和光直人
署 名	和光 直人 印 昭和34年 5月 8日生
事件簿番号	
連絡先	電話〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇 自宅・勤務先[]・携帯

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしてつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

◎届出人の印をご持参ください。

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名	和光 太朗	性別	男	生年月日	明治(昭和) 3年11月7日 大正 平成 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) 午前/午後 時 分
死亡したとき	平成令和2年 4月 28日	時刻	午前/午後 9時 13分		
死亡したところ	死亡したところの種類	1 病院 2 診療所 3 介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他			
死亡したところ及びその種別	死亡したところ	埼玉県和光市〇〇1丁目2番3号			
死亡したところの種類(施設)の名称		〇〇〇〇			
死亡の原因	(ア) 直接原因 (略)	発病(発症)又は受傷から死亡までの期間 (略)			
I	(イ) (ウ) の原因				
	(ウ) (イ) の原因				
	(エ) (ウ) の原因				
II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
	手術	部位及び主要所見	手術年月日 平成 昭和 年 月 日		
解剖	主要所見				
死因の種類	1 病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火傷による傷害 その他及び不詳の外因死 9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因				
12 不詳の死					
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき 平成・昭和 年 月 日 午前/午後 時 分 傷害が発生したところ 都道府県 市区町村	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他 ()			
◆ 伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況				
17 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重 グラム 単胎・多胎の別 1 単胎 2 多胎 (子中第 子) 妊娠週数 満 週	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状 母の生年月日 昭和 平成 年 月 日 前4回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 人 (妊娠満22週以後に限る)			
18 その他特に付言すべきことがら					
19 (病院、診療所若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所) (氏名) 医師	上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 令和 平成 年 月 日 本診断書(検案書)発行年月日 令和 平成 年 月 日	〇〇〇〇 〇〇〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇〇		

記入の注意

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養老老人ホーム、特別養老老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠何週何日の分娩中」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合には「妊娠何週何日後何日」と書いてください。

I欄及びII欄に関連した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が相当します。「煙、火災及び火傷による傷害」は、火災による酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういふ状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。母子健康手帳等を参考に書いてください。